

**BURTON**  REFERENCE GUIDE

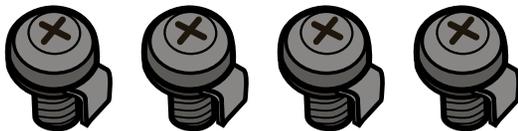
# **BIND INGS**

# テンションは最高潮!

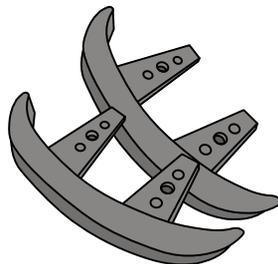
あなたは、最も高性能で、最も快適な、最も信頼の置けるBurtonバインディングを手に入れました。早速セッティングして、ライディングしましょう。

## 以下が付属しています。

1. M6×13のビス(ブラック)×4、つまみが付いたワッシャー4つ
2. 延長用のガスペダル(Diode EST®とEscapade EST®のみ)



M6×13のビス(ブラック)×4、つまみが付いたワッシャー4つ



延長のガスペダル

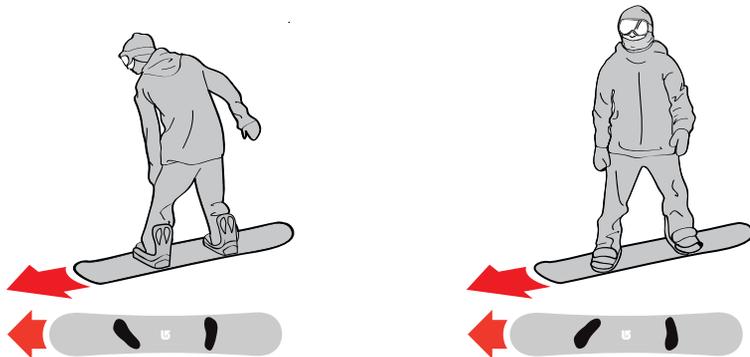
## バインディングをボードに取付けるために必要なものは?

1. #2のプラスドライバー、#3のプラスドライバー
2. 約15分と平らな場所

# あなたはレギュラーですか？ グーフィーですか？

これは、今後のスノーボードライフを左右しかねない重要な選択です。もし、サーフィンやスケートボードをやったことがないのであれば、自分がレギュラーなのかグーフィーなのか知る必要があります。まず、以下の3つの方法を試してください。

1. 友達に、背後から軽く押ししてもらいましょう。転ばないようにと、とっさに出た足が前足になります。顔面から転んだ場合は、もう一度やり直してください
2. ツルツルした床で、靴下を履いたままスライドしてみましょ。より自然と先に出た足が前足になります。壁に激突した場合は、スピードを落としてください。
3. 直立の状態から、階段を駆け上がってみましょ。最初に出た足が前足になります。階段を駆け上がれない場合は、もっと日頃から運動するようにしてください。



右足が前足ならグーフィー、左足が前足ならレギュラーになります。

# THE CHANNEL™ボードへの取付け

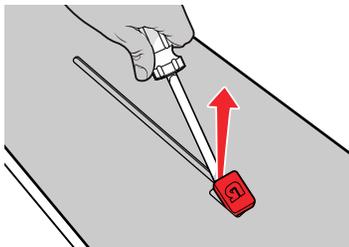


自分のボードのマウンティングシステムに適したビスを使いましょう。

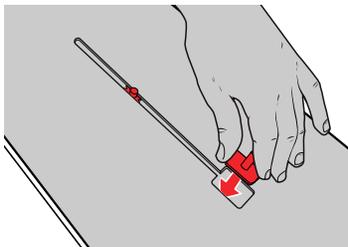
ブラックのEST®用ビス(専用つまみ付きワッシャー付属)は、THE CHANNEL™をスライドするインサートとマッチするようになっています。

注意: M6×16のビス(シルバー)は長過ぎるため、絶対に使用しないでください。ボードに深刻なダメージを与え、かつボードとバインディングのコネクションが不完全になる可能性があります。

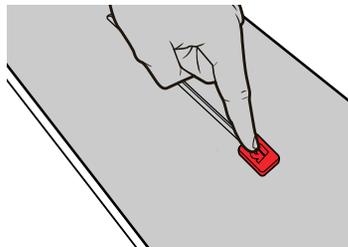
注意: Loctite®をはじめ、その他の緩み止め接着剤は使用しないでください。バインディングの非金属パーツの強度を弱め、腐食させる可能性があります。



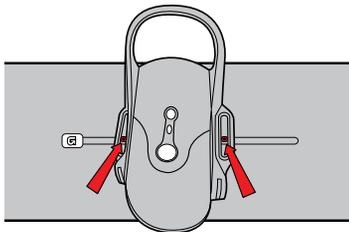
1. ドライバーを使い、ゴム製のプラグをThe Channel™から取外します。



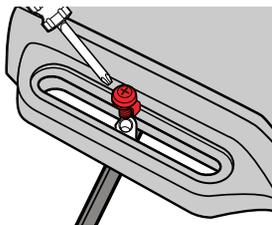
2. プラグを取外した部分からインサートを入れます。



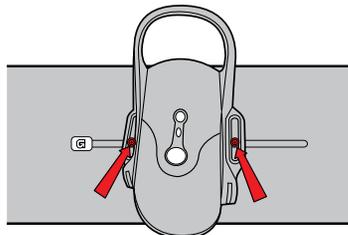
3. 再びプラグを差し込み、インサートがThe Channel™から出ないようにします。



4. EST®バインディングの両サイドにあるスロットとインサートの位置を合わせます。



5. EST®用ビスと専用ワッシャー(つまみが下に向いた状態)をスロット内のインサートに仮留めします。



6. ビスをしっかりと締めましょう。その際、少しずつ、左右のビスを交互に締めることをおすすめします。そうすることで、均等にそれぞれのビスを締めることができます。

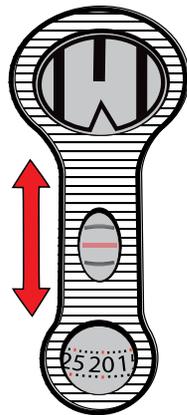
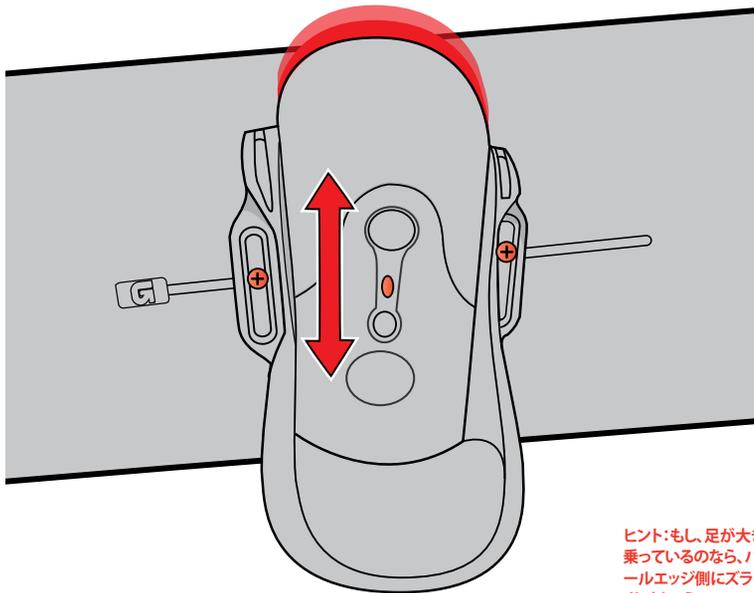
ワンポイント: ライディングするときは、毎回ビスが緩んでいないかどうかチェックしましょう。さらに、毎週日曜日の午後、もしくは満月の日など、定期的にチェックすることをおすすめします。

# スタンス調節: ブーツのセンタリング

トウのドラグは最悪です。ヒールのドラグは考えたくもありませんね。

ドラグは雪に引っ掛かるアンカーのようなもので、自然なターンの邪魔をするだけでなく、ハードなクラッシュの原因にもなります。ブーツの位置をトゥとヒールのセンターに置くことは、ドラグを防ぐだけでなく、エッジングのパワーを最大限に引き出してくれます。

ヒント:もし、足が小さくてワイドなボードに乗っているのなら、バインディングをトゥエッジ側にズラし、トゥサイドのターンでパワーを発揮できるように調節しましょう。



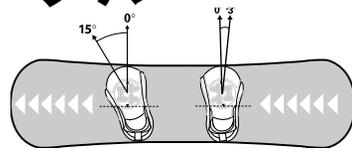
ヒント:もし、足が大きくて細いボードに乗っているのなら、バインディングをヒールエッジ側にズラし、トゥドラグを少なくしましょう。

# スタンス調節: スタンスアングル

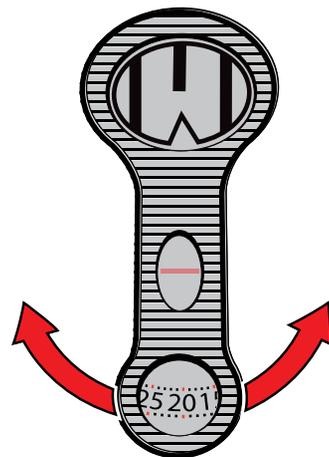
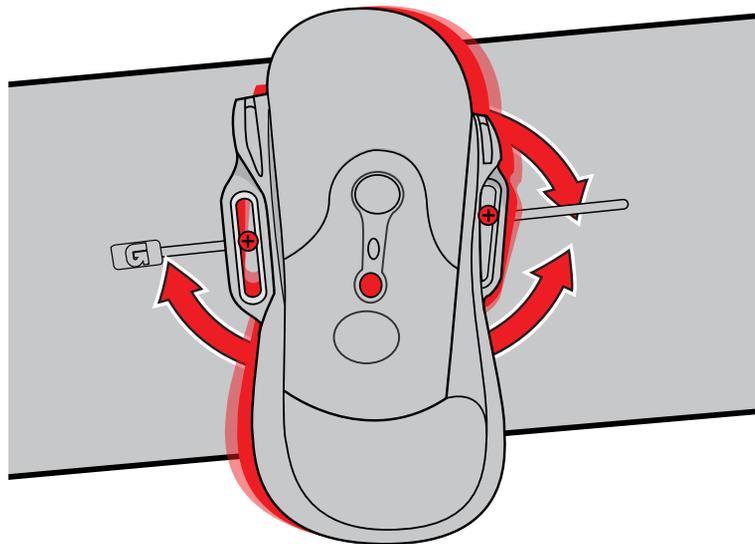
## スタンスアングルの好みは、人それぞれです。

快適なスタンスアングルは人それぞれですが、一般的に前足を6°から22°に、後ろ足を-15°から0°に設定する人が多いようです。女性の場合は、お尻の構造上、前足と後ろ足で角度の違いを大きくした方が快適にライディングできます。

納得のいくフィーリングを得られるまで、何度でもスタンスの微調整を繰り返してみましょう。ただし、ライディング前にビスを締めることは忘れないでください。



自分の好みがあきらかにないのであれば、まずは前足15°、後ろ足-3°で始めてみましょう。



1. あなたはスタンス角度を調整したい場合には、まずは、ボードとバインディングを固定しているネジを緩めてみましょう。EST®のくるみ製本ではスタンス角度計を見ながら、お好みの角度を調整する。

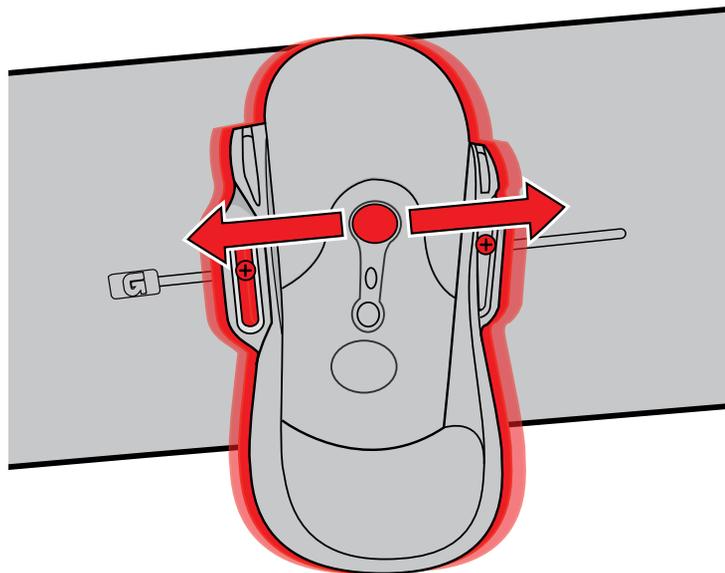
2. ビスを締めます。自分が望むアングルになっているかどうか、ディスクやベースプレートのアングル表示、EST®のインジケータを確認します。

# スタンス調節: スタンス幅とセンターリング

全てのBurtonボードには、推奨スタンスが設定されています。

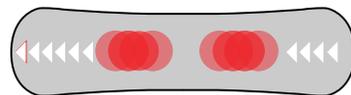
よりグラブをしやすいためや、より安定した着地のため、ワイドなスタンスを好むライダーがいます。一方で、よりパワフルなターンやレスポンスのため、ナローなスタンスを好むライダーもいます。結局のところは、何がより自然なライディングを可能にするかなのですが、Burtonチームの中には、いまだパーフェクトなスタンスを探し続けているライダーもいます。

いろいろなスタンス幅を試してみたいのなら、ビスを緩め、左右のバインディングを約2.5cmずつ狭めたり(ナローなスタンス)、広げたり(ワイドなスタンス)します。ビスを締め直したら、ライディングしてみましょう。



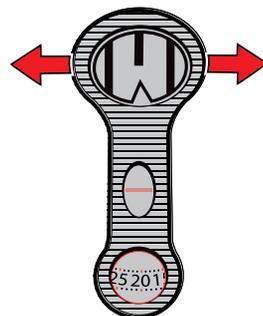
センタースタンスの調節をする際は、ビスを緩め、左右のバインディングを同じだけノーズ、またはテール側に動かします。ビスを締め直したら、ライディングしてみましょう。

センタースタンス(バインディングからノーズとテールへの長さが同じスタンス)は、パークをはじめ、圧雪パーンや硬めのスノーコンディションでのライディングに適しています。セットバックスタンス



(約2.5cmから5cmテール寄りにズラしたスタンス)はパウダーやバックカントリー、その他フリーライディングに適しています。自然とテールが沈むことで、よりボードに浮力がもたらされるからなのです。

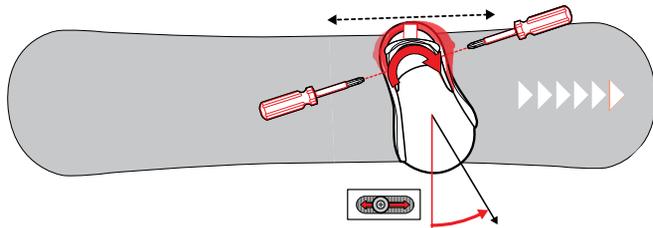
注意: セットフロントはやめましょう。フェイスプラントの達人になってしまいます。



ヒント: 後ろ足が異常に疲れるという人は、後ろのバインディングのみを約2.5cmテール側に下げてください。

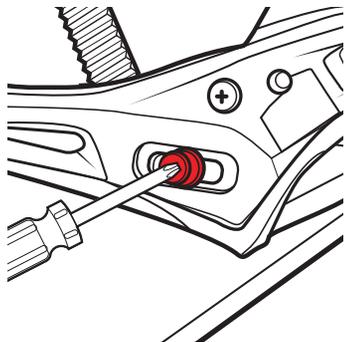
# ハイバックローテーション

最大限のパワーを得るため、またトリックをやりやすくするためには、ボードのヒールエッジと平行になるようハイバックの位置を調節する必要があります。



1. ハイバックの位置を動かすには、ハイバックとベースプレートをつなぐバインディング両サイドのビスを緩めます。

2. ねじるようにしてハイバックを回し(0°から30°の間で)、ボードのヒールエッジと平行になるようにします。



3. ビスを締め直してライディングしてみましょう。



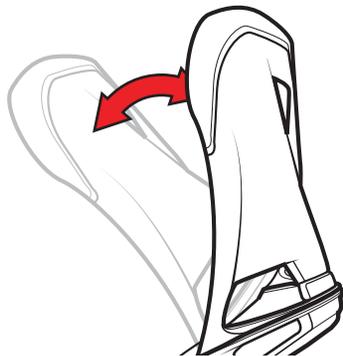
ヒント:さらにハイバックを回すには、スロット内でプラスチックのワッシャーを回転させてください。ステップ1で記載した角度以上の調節ができます。

ヒント:ビスを締め直す際は、ハイバックがヒールカップにしっかりとフィットしているかを確認しましょう。また、フォワードリーンアジャスターがヒールフープに正しくフィットしているかも確認してください(MicroFLAD搭載モデルのみ)。

# フォワードリーン

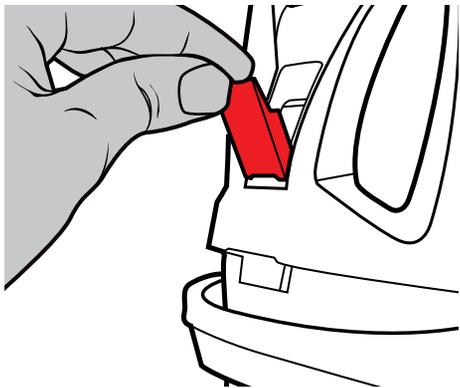
フォワードリーンの角度が大きくなると、さらに素早いターンやクイックなレスポンスが可能になります。

一方で、角度が少ないほど、より自由度が高く、トゥイクしやすいフリースタイルなライディングが可能になります。



## MicroFLAD

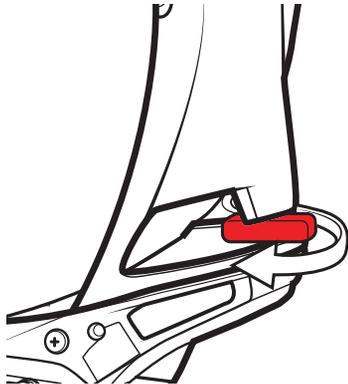
1. フォワードリーンを調節するには、まず、ハイバック後ろにあるフォワードリーンアジャスター (FLAD™) のレバーのロックを解除します
2. 好みのポジションに合うようFLAD™をスライドさせ、レバーをロックします。



ヒント: 正確にフォワードリーンをセットするために、ハイバックの“F”マークを活用しましょう。

## DialFLAD

1. フォワードリーンを調節するには、好みのポジションに合うようFLAD™のダイヤルを回します。
2. お好みのポジションが決まったら、ハイバックの表面 (内側と外側) とダイヤルが同一平面になっているかを確認します。



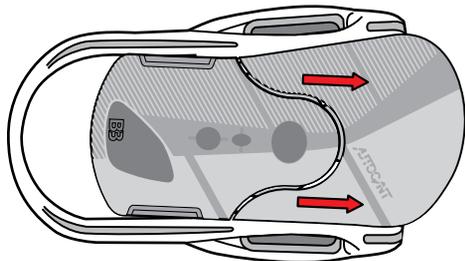
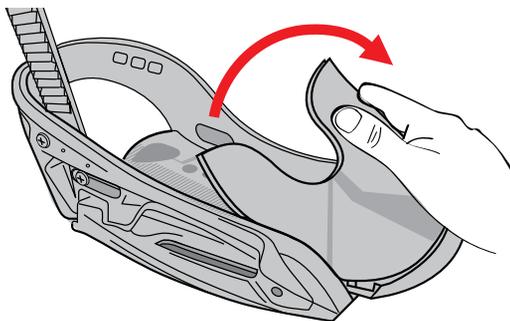
ヒント: 参考用に、FLADのポストにある“F”マークを活用しましょう。

# ガスペダル調節

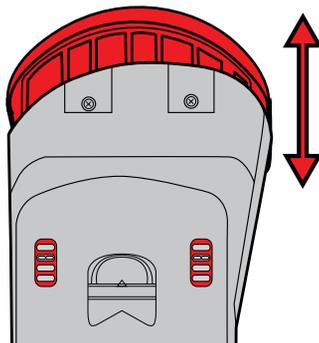
ガスペダルはトウのドラグを軽減します。足の疲労を和らげ、ターンに一層のパワーを与えてくれるのです。

ヒント:ガスペダルは、ブーツソールとBEDとのコンタクトポイントに合わせるようにしてください。それ以上伸ばすと、トウドラグの原因になります。

1. ガスペダルのタブをヒールパッドから外します。

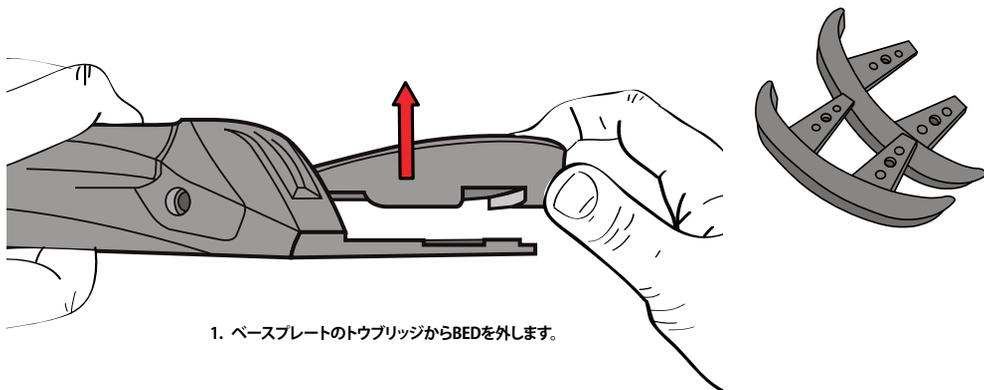


2. ガスペダルを好みのポジションへとスライドさせ、ヒールパッドの現状の位置にはめ込みます。



# ガスペダル調節 (プレミアムEST®)

Diode EST®とEscapade EST®のみ



1. ベースプレートのトウブリッジからBEDを外します。

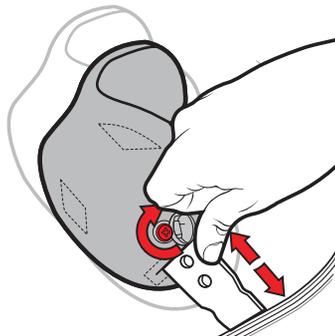


2. 延長用ガスペダルをBEDに装着し、共にトウブリッジにはめ込みます。

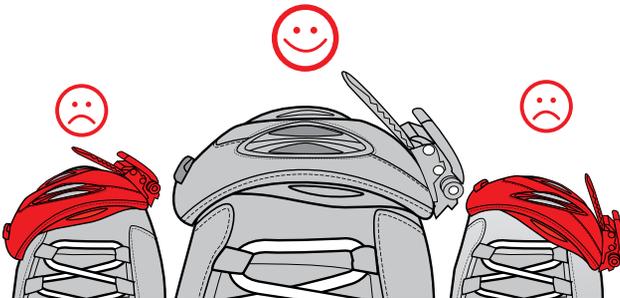
# アンクル&トウストラップ調節

## ストラップの長さ

1. ストラップの長さを調節するには、まずストラップとスライダをつなぐビスを緩めます。ストラップをスライドさせ、好みの長さに調節します。スライダの穴とインサートの位置が合うようにします。



2. ステップ3:ブーツをバイディングに装着し、長さを確認してからビスを締め直します。アンクルストラップの曲線をブーツの曲線とマッチさせるためには、アンクルストラップがブーツのセンターに位置する必要があります。また、トウストラップの最も厚い部分とブーツのトゥボックスの最も厚い部分がピッタリ合うように、トウストラップもセンターに移動させる必要があります

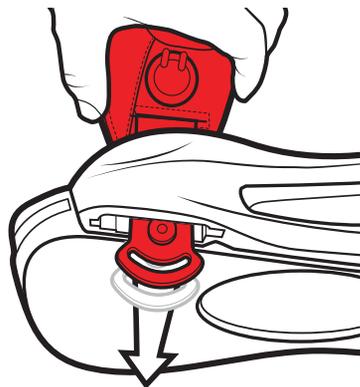
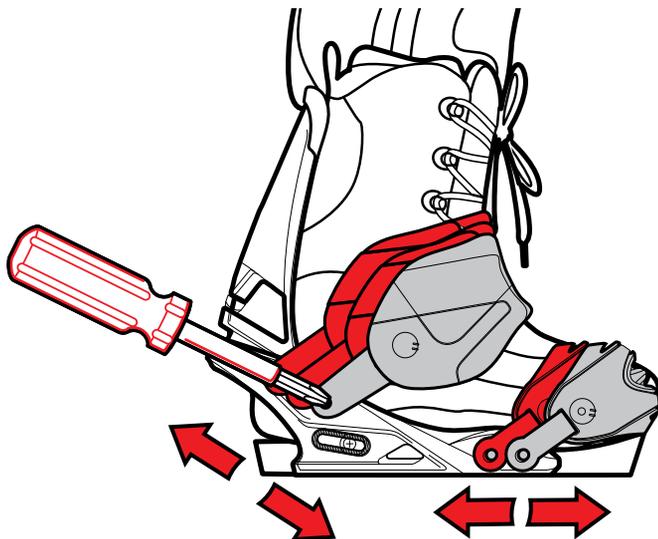


**ワンポイント:**ストラップは伸びませんが、ブーツは使用を重ねると足に馴染みます。特に新しいギアの場合は、シーズン中でも必要に応じてストラップを調節しましょう。

**注意:**新しいバイディングを使用するときは、ライディング前に必ずストラップの長さをチェックしましょう。

# アンクル&トウストラップ調節

ストラップの高さ



1. ストラップの高さを調節するには、まずストラップとベースプレートをつなぐビスを緩めます。
2. ストラップとビスを取外し、現状より高い位置、もしくは低い位置に再度配置します。

**ワンポイント:**ベースプレート内側にはナットが埋め込まれています。ストラップの位置を調節する際には、必ず取外してから行ってください。

3. ストラップスライダーとラチェットタンを好みの位置に移動します。まず、ナットをはめ込んでからビスを締めます。ブーツを装着し、問題なくストラッピングできるかの確認も怠らないでください。

高い位置にストラップを合わせることで、サポートとパワーが向上します。一方で、低い位置にストラップを合わせると、柔軟性と動きやすさを手にすることができます。

**ワンポイント:**ストラップの高さは、ベースプレートの形状やモデルにより調節できる範囲が異なります

# Warning



**Keep it rad.** Look both ways before you cross the street. Bathtubs are slippery. Do not stand on the top step of a ladder. Life has risks...Snowboarding is one of them. These are the best bindings in the world, but they are not designed to release. The best protection you have is yourself. Read the instruction manual...Learn to ride. Accept the risks you can handle without putting others at risk.

A runaway snowboard is a dangerous thing. When not attached to your feet they can slide away and cause serious injuries. Remember YOU are responsible for preventing your board from hurting others. Make sure your ride doesn't fall off a rack or get dropped when you're hiking. In compliance with ISO Code 14573, you are required to use a leash at all times when strapped in. The leash must be attached to the binding by looping it through the notch on the interior side of the front foot baseplate, and securely fastened to your body on the other end. No one gets hurt and we all shred another day!

Avoid compression damage by folding down your high-performance hi-backs before loading / unloading.

## Attention / Achtung / リフトに乗る際の注意

⚠ Attention. Sois prudent. Regarde des deux côtés avant de traverser la rue. Une baignoire, c'est glissant. Ne te place pas debout sur la dernière marche d'une échelle. La vie comporte des risques...pratiquer le snowboard en est un. Voici les meilleures fixations au monde. Par contre, ces fixations ne sont conçues pour dégager tes pieds. La meilleure protection que tu peux avoir c'est toi-même. Lis le mode d'emploi...apprends à rider. Assume les risques que tu peux prendre sans mettre les autres en danger.

Un snowboard qui s'échappe sans contrôle sur les pistes peut être très dangereux. Lorsque le snowboard n'est pas attaché à tes pieds, il peut glisser et provoquer des blessures graves. Souviens-toi que c'est TA responsabilité d'empêcher que ton snowboard ne blesse quelqu'un. Assure-toi que ta planche ne tombe pas d'un support ou ne chute pas lors d'une ascension. En conformité avec le Code ISO 14573, tu dois utiliser une courroie de sécurité en permanence lorsque tu as ton snowboard aux pieds. Cette courroie doit être attachée en permanence à la fixation à l'aide d'une boucle autour du cran situé du côté interne de la base du pied avant. La courroie doit être accrochée solidement à une partie de ton corps lorsque tu utilises ton snowboard. Personne ne sera blessé et on peut rider une journée de plus!

Évite les dommages de compression en pliant toi-même le hi-back de fixation avant de prendre le télésiège.

⚠ Sei wachsam, adlerauge! Schau links und rechts, bevor du die strasse überquerst. Pass auf, dass du nicht in der badewanne ausrutschst. Balanciere nicht auf der obersten stufe einer leiter. Das leben ist voller gefahren ... und snowboarden ist eine davon. Wir bieten dir die besten bindungen der welt, aber denk dran – auch sie gehen nicht automatisch auf. Der beste schutz vor möglichen gefahren bist du selbst. Lies die bedienungsanleitung ... lerne snowboarden. Akzeptiere risiken, die du bewältigen kannst ohne andere in gefahr zu bringen.

Ein den Hang hinunter schliessendes Snowboard kann sehr gefährlich sein. Ist es nicht richtig an deinem Fuss befestigt, kann es dir entgleiten und damit schweren Schaden anrichten. Denk dran, dass DU dafür verantwortlich bist, dass andere durch dein Board nicht verletzt werden. Sorge dafür, dass dein Brett sich nicht vom Dachträger oder während des Anstiegs aus der Boardbefestigung lösen kann. Gemäss ISO Code 14573 ist der Gebrauch einer Leash beim Snowboarden zwingend vorgeschrieben. Die Leash muss an der Bindung befestigt sein, indem sie durch den Schlitz an der Innenseite der Vorderfuss-Basemplatte gezogen und mit dem anderen Ende am Bein befestigt wird. Wenn niemand verletzt wird, können auch in Zukunft alle Spass am Fahren haben!

Druckschäden durch Vorklappen des Highbacks vor dem Ein- bzw. Ausladen des Snowboards sind zu vermeiden

⚠ 道を渡る時には左右をしっかりと確認しよう。お風呂場は滑りやすい。ハシゴのてっぺんに立つのは危ない。生活の中には危険がイッパイ・・・スノーボーディングもその1つです。これは世界最高のバインディングですが、リリリース（開放）するにはデザインされていません。最高のプロテクションはあなた自身です。インストラクションマニュアル（取扱説明書）をきちんと読んで、他の人々を傷つけることなく、自分のリスクは自分自身で負いましょう。

警告:足から外れ、斜面を流れていくボードは凶器です。ボードを足につなげておかないと、時として大きな事故を引き起こす可能性があります。スノーボーダーには、自分のボードで誰かにケガを負わせないようにする責任があることを忘れずに下さい。ハイク中に背負ったボードがバックパックから落ちたり、脇に抱えたボードを手から落としたりしないようにしましょう。ISO Code 14573に従い、ボードを装着している時は常にリリースコードを緩めなければなりません。リリースは、バインディング前足ベースプレートの内側にループに通し、反対側を自分の体につかり固定します。誰もケガをすることなく一日を終えて、また次の日も皆でライディングを楽しみましょう。

リフトを使用する際には、ハイパフォーマンス・ハイバックを前に倒し、リフトとの接触によるハイバックへのダメージを防ぎましょう。

**B BURTON.COM**

**FOLLOW OUR LINE**



[facebook.com/burtonsnowboards](https://facebook.com/burtonsnowboards)  
[twitter.com/burtonsnowboard](https://twitter.com/burtonsnowboard)  
[youtube.com/burtonsnowboards](https://youtube.com/burtonsnowboards)  
[instagram.com/burtonsnowboard](https://instagram.com/burtonsnowboard)

**W48 WARRANTY**

**USA 800-881-3138 / EU 00800-287-866-13**

**JPN +81(3) 5738-2555 / AU +61 (2) 99359000**

[burton.com/warranty](https://burton.com/warranty)